

第7回高砂市総合計画審議会（全体会）
議事録【要旨】

開催日時	平成22年7月23日（金） 午前10時00分～午前10時20分
開催場所	中央公民館兼伊保公民館 3階 講堂
会長	近藤委員
出席者	近藤委員、谷口委員、田端委員、赤木委員、伊藤隆委員 稲田委員、伊保委員、國分委員、作間委員、中井委員 前田委員、松本委員、森本委員、米田委員、石原委員 紙谷委員、坂口委員、砂川委員、辻委員、渡邊委員 高岡委員（21名）
欠席者	伊藤勝之委員、大上委員、柿木委員、北野委員、喜始委員、中野委員 山名委員、田中委員、宮野委員（9名）
議事	(1) 将来都市像について (2) 答申について
資料	1. 答申書本文 2. 第4次高砂市総合計画基本構想（案） 3. 第4次高砂市総合計画基本計画（案） 4. 第4次高砂市総合計画まちづくり指標（案） 5. 第4次高砂市総合計画重点施策（案）

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>1. 開 会</p> <p>ただいまより第7回高砂市総合計画審議会を開催する。</p>
会長	<p>2. あいさつ</p> <p>皆さん、こんにちは。高砂市総合計画審議会第7回全体会のご案内を申し上げましたところ、大変お忙しいなか、ご出席賜り、ありがとうございました。</p> <p>本日は、7月2日の全体会において小委員会へ一任された事項、(1) 将来都市像について、(2) 答申について、以上の2項目について小委員会で決定した内容を皆さまにご報告させていただきます。そのうえで審議会としてまとめた総合計画(案)の答申を市長の方へ行うこととしております。</p> <p>昨年の5月29日の第1回審議会以降、審議会運営について、副会長はじめ部会長、副部会長、かつ委員の皆さま方には多大なご協力をいただき、ありがとうございました。審議会でのご意見等をふまえ、できるだけ多くの市民の皆さまの意見を反映させながら、総合計画(案)をまとめ、本日、審議会として答申するはこびとなりました。皆さま方のご協力のもと、本日も進めてまいりたいと思います。最後まで、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
市長	<p>皆さん、こんにちは。公私ともご多忙のなか、本日の審議会に出席を賜り、ありがとうございました。皆さま方には、平素から市政運営全般にわたり、ご理解とご協力をたまわっておりますことをこの場をお借りいたしまして、あらためて感謝を申し上げます。</p> <p>昨年の5月29日に、この総合計画の諮問をさせていただきました。皆さま方におかれましては、それ以後、部会、小委員会、あるいは全体会のなかで、本当にさまざまな面からご議論、ご意見をたまわりました。その結果をうけて、本日、答申をいただくということになっております。本当に1年以上にわたる長い期間、ご苦労さまでございます。本当にありがとうございます</p>
事務局	<p>本日の会議は、出席21名、欠席9名で、審議会条例第5条第3項の規定により、過半数が出席されているため会議が成立していることを報告する。また、当審議会は、高砂市総合計画審議会の運営に関する規程に基づき、公開としている。本日の傍聴希望者は5名。</p> <p>○配付資料説明</p> <p>今後の議事進行は会長とする。</p>

<p>会長</p>	<p>3. 議 事</p> <p>それでは（１）将来都市像について、事務局より説明いただく。</p>
<p>事務局</p>	<p>○（１）将来都市像について説明 将来都市像については、7月2日の全体会で小委員会に一任された。その後、7月9日に小委員会を開催し、検討した。最終的には会長、副会長、事務局に一任され、その結果、基本構想P16に示している将来都市像「～郷土に学び 未来を拓く～ 生活文化都市 高砂」に決定した。</p>
<p>会長</p>	<p>小委員会でかなりの時間をかけて議論をした結果、当初、ご賛同いただいた「郷土に学び 未来を拓く 生活文化都市 高砂」に落ち着いた。「郷土」のなかには、歴史や文化、自然環境等々の意味が含まれているため、かなり広範な解釈が可能である。また、「生活文化都市」がメインであるため、上の句があまり重たくならないようにとも考え、以上のように決定した。 それでは（２）答申について、事務局からご説明いただく。</p>
<p>事務局</p>	<p>○（２）答申について説明 「答申」の一件書類について 答申書本文に、基本構想（案）、基本計画（案）、まちづくり指標（案）、重点施策（案）を添付し、「将来都市像」実現に向けて、配慮事項を付記して、答申を行う。</p>
<p>会長</p>	<p>以上、2件の報告というかたちで議事を終える。 今後の進行は事務局で願う。</p>
	<p>4. 答 申</p> <p>会長から市長へ答申</p>
<p>市長</p>	<p>5. 市長 お礼</p> <p>ただいま、皆さんの目の前で答申をいただきました。本当にありがとうございます。将来都市像は「郷土に学び 未来を拓く 生活文化都市 高砂」に決まりました。この言葉を、高砂市が今後10年間、施策を進めていくうえでの座右の銘といったかたちで、あるいは10年後の高砂市を目指して進んでいくための理念としてまいりたいと思っています。総合計画には高砂市全体のことが載っております。皆さん方からいただいたこの基本理念、あるいは基本計画、あるいは実施目標等々について、10年後を見て、いま何をすべきかという計画を立てて、しっかりとやってまいりたいと思います。 部会、あるいは全体会でも、いろんな分野にわたって皆さん方からご意見を</p>

	<p>いただきました。福祉をもっと充実すべきだとか、役所の財政運営をしっかりとやりなさいと。あるいは社会資本整備についてはまだ遅れているところがありますよ。子どもに対しても、高齢者に対しても、障がい者に対しても、いろいろなかたちでご意見いただきました。議事録は、その都度、全部読ませていただきました。それを受けて、私は今日の答申も受けさせていただきまし、今日からの市政運営でも、このことについてしっかりと頭に入れて、実現していきたいと思っております。</p> <p>第4次総合計画のスタートは来年の4月からですが、私はすでに昨年5月29日から始まっていると考えています。ですから、いまからでも一つ一つ10年後の姿に向けて、第3次の集大成を含めたなかで取り組んでいると思っております。</p> <p>ただ、役所としてこれからできること、できないことが出てくると思います。役所だけではできないことは、皆さん方にやっぱりお願いしなければとも思いますし、そういったことの説明責任も果たしながらやってまいります。</p> <p>どうか皆さん方にも、いままで以上に、またご意見をうかがいたいと思っておりますので、今後とも、ご指導ご鞭撻をお願い申し上げまして、本日のお礼のあいさつとさせていただきます。本当にどうもありがとうございました。</p>
事務局	<p>6. その他</p> <p>○ (6) その他について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の答申を受けて、市の案を作成し、9月議会に提案予定 ・ 議決後、平成23年1月ごろに全体会を開催し、報告する予定
副会長	<p>ただただこの一年間、あっという間に過ぎたなという思いです。私は第3部会でしたが、高砂の市民の方々の暮らしについて、本当にさまざまな委員の方から本当に貴重な意見をいただいたと思います。これは高砂市のためになるだけではなく、福祉に携わる私にとっても非常に勉強させていただいたとあらためて感謝いたします。私は、今後とも高砂市の10年について関心をもって、影ながら支援してまいりたいと思っておりますので、何かありましたらどうぞご指導のほど、よろしく願いいたします。会長はじめ委員の皆さま方本当にご苦労さまでした。ありがとうございました。</p>
事務局	<p>7. 閉会</p> <p>これにて審議会を閉会する。</p>